

各 位

会 社 名 : 株式会社夢真ホールディングス
 (コード : 2362 JASDAQ)
 代 表 者 名 : 代表取締役社長 佐藤 大央
 問 い 合 せ 先 : 執行役員 管理本部長 片野 裕之
 (T E L : 03-3210-1212)

2016年9月期 第3四半期 連結決算概況について

1. ハイライト

- ① 建築技術者派遣事業 売上高 21 四半期連続で2ケタ増収
- ② 建築技術者派遣事業 派遣単価が順調に回復 営業利益が前年同四半期比 194%増益
- ③ 建築技術者派遣・エンジニア派遣事業 とともに採用人数が計画どおり順調に推移

2. 経営成績

- ① 連結 (百万円)

	2015年9月期 第3四半期	2016年9月期 第3四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	16,286	16,949	+662	+4.1%
営業利益	1,402	1,800	+398	+28.4%
経常利益	1,629	1,815	+185	+11.4%
四半期純利益	1,913	1,172	△741	△38.8%

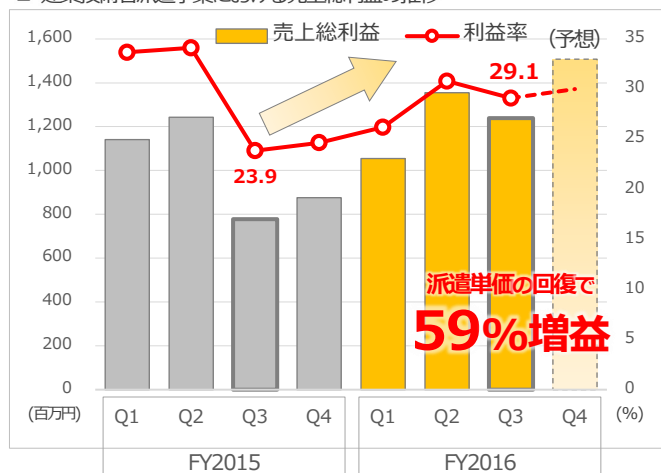
- ② 建築技術者派遣事業 (百万円)

	2015年9月期 第3四半期	2016年9月期 第3四半期	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	10,298	12,693	+2,394	+23.3%
営業利益	1,474	1,606	+131	+8.9%
期末技術者数	2,623 人	3,125 人	+502 人	+19.1%
期中平均技術者数	2,423 人	2,950 人	+527 人	+21.7%

3. サマリー

- ① 売上高 稼働人数の増加および派遣単価の改善により建築技術者派遣事業が23%増収、エンジニア派遣事業も21%の増収となりました。連結売上高では、前期に子育て支援、介護および総合建設事業あわせて2,571百万円を計上していましたが、当期では建築技術者派遣およびエンジニア派遣事業の増収により、その差額分をカバーし、4%の増収となりました。
- ② 営業利益 建築技術者派遣事業にて、前第3四半期に実施しました稼働率を優先した低単価戦略による影響が一巡し、派遣単価が改善いたしました。その結果、売上総利益率が前年同四半期比5pt.上昇したことで9%の増益となりました。連結営業利益では、子育て支援、介護および総合建設事業あわせて343百万円の減益要因がなくなったことで28%の増益となりました。

■ 建築技術者派遣事業における売上総利益の推移



～第4四半期について～

派遣単価の回復による売上総利益率の改善は第4四半期も継続。売上総利益率30%以上の予想。(左グラフ参照。)

毎月200人ペースで入社する技術者への効率的研修から早期での稼働先決定に努め、稼働率の維持と派遣単価の更なる上昇を目指してまいります。